

地域医療確保に関する国と地方の協議の場の設置について

令和元年9月26日、厚生労働省は、公立・公的医療機関等について再編統合等の再検討を求めるとして、全国424の具体的な病院名を公表した。

地域の個別事情を踏まえず、全国一律の基準による分析のみで病院名を公表したことは、国民の命と健康を守る最後の砦である自治体病院が機械的に再編統合されることにつながりかねず、極めて遺憾であると言わざるをえない。

もとより、少子高齢化が進展する中で、持続可能な医療を提供する体制をつくるため、地方としてももしっかり取り組んでいく所存である。

今後、地域医療構想等の取組の推進に当たっては、地域の実情を十分踏まえたものとなるよう、新たに設置される「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」等を通じて、意見を申し上げていきたい。

令和元年9月27日

全国知事会会長 飯泉 嘉門

全国市長会会長 立谷 秀清

全国町村会会長 荒木 泰臣